

■ (24) 秘密の情報入手が取材の基本だが、入試では…

京都大などの入試で、試験中に、ネット掲示板に、「試験問題の解答を教えて」という内容の「カンニング投稿」が繰り返された。警察に逮捕されたのは予備校生だった。

新聞記者の取材の基本は情報をいかにとるかだ。特ダネにつながるのは、公になっている情報ではなく、秘密になっている情報だ。それをどうやって手に入れるかが大事だ。

「夜討ち朝駆け」は情報を持っている人に会うため、その人の自宅に早朝や深夜に足しげく通う古典的な取材手法。情報源を守るためにも、2人だけになれる場面を作るのが狙い。そこに携帯電話は革命を起こした。特に携帯メールは常に、2人だけの「秘密の会話」ができる。携帯メールで文章を打っていても、内容や送信先が周囲にばれることはまずない。なので、多くの「内緒のメル友」を持っている記者は少なくない。

予備校生のカンニングは、その手法がミステリアスで世間の興味を引いたため、かなりの「大事件」に発展してしまった。わからないことは得意な人に質問する。その姿勢に限れば取材と同様で間違っていないものの、さすがに場面と手法は「×」だった。(山)